サンペノヒヤッコの井戸

長倉町から馬喰町に抜ける小路をサンペノヒヤッコ(三平の庇合い＝小路)と俗に呼んでいる。むかしそこに井戸があって、ある時アダコ(子守り娘)が子供をおぶって水を汲もうとしゃがんだひょうしに、おぶっていた子供が帯からぬけて井戸に落ちてしまった。主人はこのアダコを憎んで井戸に突き落して殺してしまった。その後、毎夜のように子供をおぶったアダコの亡霊があらわれたため、主人は「逆さ仏」を作ってねんごろに供養したそうだ。